

2018年12月1日（土）静岡英和学院大学にて、第6回論文発表大会が開催されました。大会では、特別講演として、『ラブライブ！サンシャイン！！』の聖地である沼津の“沼津あげつち商店街振興組合”理事、平田百彩氏にご講演を頂きました。

平田氏は、2013年から沼津あげつち商店街振興組合の理事を務め、沼津の町中を流れる狩野川の有効活用を目指す国土交通省並びに沼津市と提携し、河川敷活用をはじめ、ウェブシステム開発に携わりました。2015年には専務理事に就任し、組合事業全般の企画・運営に従事しています。本講演では、「私たちのミライチケット～『ラブライブ！サンシャイン！！』と一緒に輝きたい～」というテーマでご講演され、あげつち商店街でのコンテンツツーリズムによる商店街活性化のための取り組みや課題などをお話しました。

以下の様、論文研究発表が行われ、7名の方が発表されました。

1. 鷲谷正史氏（目白大学）が「ユーザー・ジェネレイテッド・コンテンツによる訪問動機付けの研究——トキワ荘通りの事例を元に」、
2. 堀井香奈子氏（お茶の水女子大学博士後期課程）「絵本のキャラクター分析による子どもに愛されるキャラクターの条件」、
3. 渡辺敏明氏（北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程）が「テレビドラマを活用した地方自治体の地域資源創出の可能性——福井県ブランド営業課を事例として」、
4. 高松宏弥氏（東京工業大学・博士後期課程）が「コンテンツ化する『本場の味』——西川口チャイナタウンを訪れる日本人観光客」、
5. 藤澤和也氏（NHK放送技術研究所ネットサービス基盤研究部）が「コンテンツ視聴と生活行動に関する基礎調査結果」、
6. 崔瑛氏（静岡英和学院大学）が「アニメによる観光振興の取り組み——大洗町・秩父市・沼津市・飛騨市ケーススタディ」、
7. 毛利康秀氏（静岡英和学院大学）が「コンテンツツーリズムにちなんだ観光振興策に対する地元および訪問者の意識についての比較研究——静岡県沼津市を事例として」について発表されました。

これらの発表後には、論文および大会全体の講評があり、閉会の挨拶で締めくくられました。

今大会では、アニメを対象としたコンテンツツーリズムに関する研究発表だけでなく、食やメディアコンテンツ全般に関する多様性のある研究発表会となり、活発な議論も展開され、今後のコンテンツツーリズム研究のさらなる発展と可能性が期待される大会となりました。

最後に、講演者、発表者の皆様、また当日運営にご尽力いただきまし静岡英和学院大学の柴田敏学長および毛利康秀准教授はじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。

【プログラム】

- 14:00 開会挨拶
コンテンツツーリズム学会会長 増淵敏之（法政大学大学院教授）
開催校代表 挨拶
静岡英和学院大学学長 柴田敏
- 14:05 特別講演「私たちのミライチケット～『ラブライブ！サンシャイン！！』と一緒に輝きたい～」
講師：平田百彩（沼津あげつち商店街専務理事）
- 15:10 論文発表（7名）
- 16:45 全体講評
コンテンツツーリズム学会名誉会長 溝尾良隆（立教大学名誉教授）
コンテンツツーリズム学会副会長 安田亘宏（西武文理大学教授）
- 17:00 閉会挨拶
コンテンツツーリズム学会理事 中村忠司（大阪観光大学教授）
- 17:30 意見交換会
- 19:00 コンテンツツーリズム学会第6回論文大会閉幕

【写真】

